

一般医療機関における術前検査等での肝炎検査実施状況に関するアンケート調査

研究分担者：内田 義人 埼玉医科大学 消化器内科・肝臓内科 助教
研究協力者：赤羽 典子 埼玉県疾病対策課
研究協力者：玉井 彩加 埼玉県疾病対策課

研究要旨：埼玉県内の医療機関における術前検査等で陽性となった者への対応状況の実態把握のアンケート調査を実施した。肝炎ウイルス検査の結果に関して、「陽性、陰性の結果に関わらず、結果を文書で交付して説明している」医療機関が34.7%と最も多く、次いで「陽性の場合のみ、結果を口頭でのみ説明している」医療機関（21.4%）、「陽性、陰性の結果に関わらず、結果を口頭でのみ説明している」医療機関（18.8%）であった。陽性者への対応としては、「肝臓専門医等へ紹介する」医療機関が56.8%と最も多く、次いで「医療機関として方針は立てず、主治医に一任している」医療機関（27.6%）であった。「検査結果の説明のみで、特にそれ以上の案内はしていない」を選んだ眼科標榜の医療機関は14.0%、外科標榜の医療機関は1.1%と、眼科標榜の医療機関が多かった。適切に結果伝達がされていない医療機関も存在し、また、陽性者の肝臓専門医への紹介に関しても、担当医に一任されている機関が多く、未紹介の機関も少なからず存在した。令和2年度より手術前検査の陽性者も初回精密検査の助成対象となるため、肝臓専門医と非専門医の病診連携に関して、適切な対応を周知する必要がある。

A. 研究目的

平成30年度の診療報酬改定で、手術前医学管理料の請求要綱に「肝炎ウイルス検査の結果が陰性であった場合も含め、検査の結果について患者に適切な説明を行い、文書により提供すること」が盛り込まれた。これにより、肝炎ウイルス検査の非認識受検者が減少することが期待される。しかし、その実態は不明である。そこで、埼玉県における外科系医療機関を対象としたアンケート調査を実施した。

B. 研究方法

埼玉県内で外科（呼吸器外科，心臓血管外科，脳神経外科，整形外科，形成外科，美容外科，歯科口腔外科）と眼科を標榜する医療機関を対象として，埼玉県医師会を通じてアンケート調査を実施し，肝炎検査の実施状況，検査結果の伝達方法，陽性者への対応を解析した。調査期間は令和元年

10月。アンケート調査の内容は以下の通り。

1. 貴医療機関では、外科的処置を行っていますか？
2. 貴医療機関では、術前検査等でB型肝炎、C型肝炎ウイルス検査を行っていますか？
3. 貴医療機関において術前検査等を行った場合、B型・C型肝炎ウイルス検査の結果説明をしていますか？
 - ①陽性、陰性の結果に関わらず、結果を文書で交付し、説明している
 - ②陽性、陰性の結果に関わらず、結果は文書で交付しているが、特に説明はしていない
 - ③陽性、陰性の結果に関わらず、結果を口頭でのみ説明している
 - ④陽性の場合のみ、結果を文書で交付し、説明している
 - ⑤陽性の場合のみ、結果は文書で交付しているが、特に説明はしていない

⑥陽性の場合のみ、結果を口頭でのみ説明している

⑦特に結果説明等は行っていない

⑧その他

4. 手術前医学管理料を請求する場合、肝炎ウイルス検査の結果を（陰性であっても）説明し、文書により提供する必要がありますか？
5. 貴医療機関における術前検査等により、B型肝炎、C型肝炎ウイルス検査が陽性となった患者への対応について、お教えください。

①同じ医療機関の肝臓専門医等へ紹介するなど、積極的に精密検査や治療を実施している

②肝臓専門医等がいる医療機関へ紹介し、積極的に精密検査や治療を促している

③医療機関として方針は立てず、主治医に一任している

④検査結果の伝達のみで、特にそれ以上の案内はしていない

⑤検査結果の伝達も含め、特に何もしていない

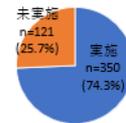
⑥その他

C. 研究結果

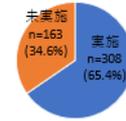
対象医療機関は、外科は病院、有床診療所が各々231, 59施設の計290施設、眼科は病院、有床診療所、その他診療所が各々88, 2, 403施設の計493施設であり、重複した施設を除外した699施設であった。このうち、471施設（67.4%）から回答を得た。

471施設のうち、設問1で外科的処置を実施していると回答したのが350施設、さらに設問2で術前検査等でB型肝炎、C型肝炎ウイルス検査を行っているとは回答したのが、外科が178施設、眼科が192施設であり、重複施設を除外すると308施設であり、以降は308施設において解析を実施した。

設問1 貴医療機関では、外科的処置を行っていますか（n=471）。



設問2 貴医療機関では、術前検査等でB型肝炎、C型肝炎ウイルス検査を行っていますか（n=471）。

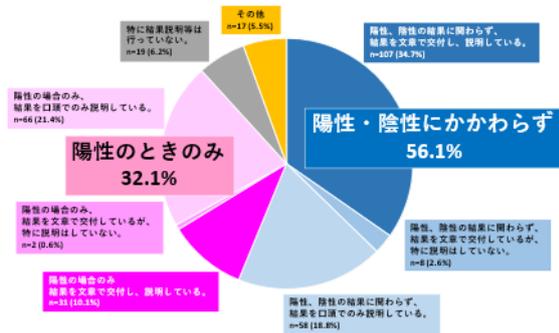


以下、308例で解析

設問3の回答を以下の表に示す。全体では「陽性・陰性にかかわらず結果を口頭または文章で説明している（①，②，③）」は173施設（56.1%），「陽性の際のみ結果を口頭または文章で説明している（④，⑤，⑥）」は99施設（32.1%），「特に結果説明等はしていない⑦」が19施設（6.2%），「その他」が17施設（5.5%）であった。

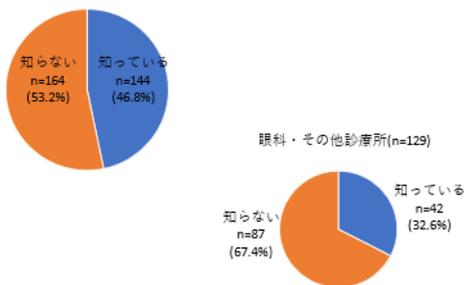
		病院		有床診療所		その他診療所	
		回答数	率	回答数	率	回答数	率
外科(重複含む)	①	45	30.2%	12	41.4%		
	②	3	2.0%	0	0.0%		
	③	35	23.5%	8	27.6%		
	④	19	12.8%	0	0.0%		
	⑤	0	0.0%	1	3.4%		
	⑥	33	22.1%	5	17.2%		
	⑦	8	5.4%	2	6.9%		
	⑧	6	4.0%	1	3.4%		
眼科(重複含む)	①	21	34.4%	1	50.0%	49	38.0%
	②	0	0.0%	0	0.0%	5	3.9%
	③	11	18.0%	0	0.0%	15	11.6%
	④	7	11.5%	0	0.0%	12	9.3%
	⑤	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%
	⑥	14	23.0%	1	50.0%	28	21.7%
	⑦	3	4.9%	0	0.0%	9	7.0%
	⑧	5	8.2%	0	0.0%	10	7.8%
総数	①	45	30.2%	13	43.3%	49	38.0%
	②	3	2.0%	0	0.0%	5	3.9%
	③	35	23.5%	8	26.7%	15	11.6%
	④	19	12.8%	0	0.0%	12	9.3%
	⑤	0	0.0%	1	3.3%	1	0.8%
	⑥	33	22.1%	5	16.7%	28	21.7%
	⑦	8	5.4%	2	6.7%	9	7.0%
	⑧	6	4.0%	1	3.3%	10	7.8%
全体	①	107	34.7%				
	②	8	2.6%				
	③	58	18.8%				
	④	31	10.1%				
	⑤	2	0.6%				
	⑥	66	21.4%				
	⑦	19	6.2%				
	⑧	17	5.5%				
合計	308						

設問3. 貴医療機関において術前検査を行った場合、B型・C型肝炎ウイルス検査の結果説明をしていますか（n=308）。



設問 4 で手術前医学管理料を請求する場合、肝炎ウイルス検査の結果を（陰性であっても）説明し、文書により提供する必要がありますことを知っているとは、外科が 102 施設、眼科が 81 施設で、重複を除くと全体では 144 施設（46.8%）であった。

設問4. 手術管理料（DPC管理料の取扱評価項目にも含まれます）を請求する場合、肝炎ウイルス検査の結果を（陰性であっても）説明し、文章により提供する必要がありますことを知っていますか。

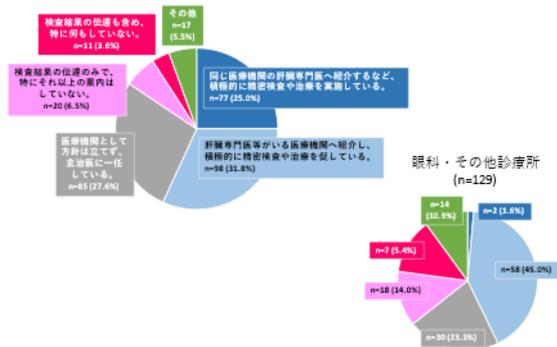


設問 5 の回答を以下の表に示す。陽性者への対応に関しては、「肝臓専門医へ紹介①、②」が 175 施設（56.8%）、「担当医に一任③」が 85 施設（27.6%）、「陽性の伝達のみで、それ以上の案内をしていない④」が 20 施設（6.5%）、「検査結果の伝達を含め何もしていない⑤」が 11 施設（3.6%）、「その他⑥」が 17 施設（5.5%）であった。これを眼科の診療所に限定（129 施設）すると、「肝臓専門医へ紹介①、②」が 60 施設（46.4%）、「担当医に一任③」が 30 施設（23.3%）、「陽性の伝達のみで、それ以上の案内をしていない④」が 18 施設（14.0%）、「検査結果の伝達を含め何もしていない⑤」が 7 施設

（5.4%）、「その他⑥」が 14 施設（10.9%）であった。

		病院		有床診療所		その他診療所	
		回答数	率	回答数	率	回答数	率
外科（重複含む）	①	65	43.6%	10	34.5%		
	②	28	18.8%	11	37.9%		
	③	50	33.6%	5	17.2%		
	④	2	1.3%	0	0.0%		
	⑤	3	2.0%	1	3.4%		
	⑥	1	0.7%	2	6.9%		
眼科（重複含む）	①	32	52.5%	0	0.0%	2	1.6%
	②	10	16.4%	1	50.0%	58	45.0%
	③	17	27.9%	1	50.0%	30	23.3%
	④	1	1.6%	0	0.0%	18	14.0%
	⑤	1	1.6%	0	0.0%	7	5.4%
	⑥	0	0.0%	0	0.0%	14	10.9%
総数	①	65	43.6%	10	33.3%	2	1.6%
	②	28	18.8%	12	40.0%	58	45.0%
	③	50	33.6%	5	16.7%	30	23.3%
	④	2	1.3%	0	0.0%	18	14.0%
	⑤	3	2.0%	1	3.3%	7	5.4%
	⑥	1	0.7%	2	6.7%	14	10.9%
全体	①	77	25.0%				
	②	98	31.8%				
	③	85	27.6%				
	④	20	6.5%				
	⑤	11	3.6%				
	⑥	17	5.5%				
合計	308						

設問5. 貴医療機関における術前検査等により、B型肝炎、C型肝炎ウイルス検査が陽性となった患者への対応について、教えてください。



D. 考察と結論

本アンケートは埼玉県、医師会を通して実施したため 67.4%と高い返信率を得ることが可能であった。

肝炎ウイルス検査の結果に関して、「陽性・陰性の結果に関わらず、結果を文章で交付し、説明している」と適切に結果伝達がされている医療機関は全体のうち 34.7%と少なかった。一方で、「検査結果を全く説明してない」と回答した施設も 6.2%あることが明らかとなった。

陽性者の肝臓専門医への紹介に関しては、56.8%の施設では積極的に肝臓専門医に紹介していたが、主治医に一任されている

施設が 27.6%，未紹介の機関も 10.1%存在しており，特に，眼科の診療所では，未紹介が 19.4%と高値であった。肝臓専門医へ紹介しない理由については今後調査を継続して明らかにする必要がある。

医療機関における術前検査等での肝炎ウイルス検査実施状況調査

令和元年度

非肝臓専門の医療機関での対応

・検査結果

陽性・陰性の結果に関わらず、結果も文章で交付し、説明している	34.7%
陽性・陰性の結果に関わらず、口頭または文章で説明	56.1%
陽性のときのみ、口頭または文章で説明	32.1%
まったく説明していない	6.2%

・陽性者の肝臓専門医へ紹介

	全件 (n=308)	眼科 クリニック (n=129)	眼科クリニック	
			術前医理科について 知っている(n=42)	術前医理科について 知らない(n=88)
積極的に紹介している	56.8%	46.6%	64.3%	38.6%
主治医に一任	27.6%	23.3%	14.3%	27.3%
紹介していない	10.1%	19.4%	23.8%	22.8%

→ 非専門医療機関、特に眼科との医療連携を！

調査結果を各医療機関にフィードバックし、今年度も再調査することを予定
検査結果説明・紹介に関する巻頭を各施設に配布するなど？
術前医理科の調査を前しとする？

本調査結果を県医師会及び県眼科医会を通じ、医療機関に結果をフィードバックするとともに、①術前検査等、医療機関における感染症対策の一環として肝炎ウイルス検査を行った際は、陽性・陰性に関わらず結果を文書及び口頭で説明すること。②陽性者については、専門医療機関を紹介し精密検査や治療を勧めること。精密検査や治療費の助成制度も併せて御案内いただくことを依頼した。今後再度調査を検討する必要がある。繰り返し調査を行うことで、検査結果の告知方法および、肝臓専門医への紹介の重要性を各医療機関に広めることが重要である。

令和 2 年度より手術前検査の陽性者も初回精密検査の助成対象となっており、肝臓専門医と非専門医の病診連携に関して、適切な対応を周知する必要がある。

E. 政策提言および実務活動

<政策提言>

HCV, HBV 治療における肝炎治療医療費助成診断書に「陽性結果を把握した時期」「陽性結果を把握した検査」を記載する項目を追加し、令和 2 年度に治療が開始となった症

例の実態を明らかにした。

<研究活動に関連した実務活動>

上記に研究班活動に加えて、埼玉県肝相談センター室長として、埼玉県疾病対策課と連携し、肝炎撲滅対策に取り組んでいる。

F. 研究発表

1. 発表論文

なし

2. 学会発表

- * 赤羽 典子, 小針 陽子, 玉井 彩加,
内田 義人, 持田 智, 埼玉県における肝炎対策の新たな取組 一般医療機関における術前検査等での肝炎検査実施状況に関するアンケート調査, 肝臓 (0451-4203)61巻Suppl. 1 Page A262, 2020
- * 田山 智美, 内田 義人, 飯塚 綾子, 征矢野 ゆみ子, 持田 智, 埼玉県における肝炎医療および地域コーディネーターの活動実態と課題, 肝臓 (0451-4203)61巻Suppl. 1 Page A233, 2020
- * 内田 義人, 中山 伸朗, 持田 智,
肝癌・肝炎の拾い上げとリスク評価 埼玉県における医療費助成診断書に基づいたDAA治療開始患者の解析 自治体検診と職域検診での陽性者の比較, 肝臓 (0451-4203)61巻Suppl. 1 Page A106, 2020

3. その他

啓発資料

なし

啓発活動

- * 内田義人：肝炎医療研修会を開催 令和2年11月3日 主催：肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会
- * 内田義人：埼玉県肝炎医療コーディネーター研修会「埼玉県におけるコーディネーターの実態とコロナ禍における活動」(座長) 令和2年11月3日

主催：埼玉県

*内田義人：肝疾患コーディネーターセミナー講師 令和3年3月1日 主催：公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター

*内田義人：知って、肝炎プロジェクト 肝炎啓発動画 令和3年3月1日

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし